



タバコから赤ちゃんを守りましょう

～ 妊婦さんのご家族もお読み下さい ～

洲本市保健センター

乳幼児突然死が防げます

乳幼児突然死症候群の 6 割以上が、**妊婦自身の喫煙**や、**妊婦や赤ちゃんの周囲の喫煙**と関係があります。妊婦自身や赤ちゃんをタバコの煙に晒さないことが乳幼児突然死の最大の予防になります。

(出典: Peter S Blair: Smoking and the sudden infant death syndrome: results from 1993-5 case-control study for confidential inquiry into stillbirths and deaths in infancy. Brit Med J 1996;313:195-198 (27 July))

先天異常が防げます

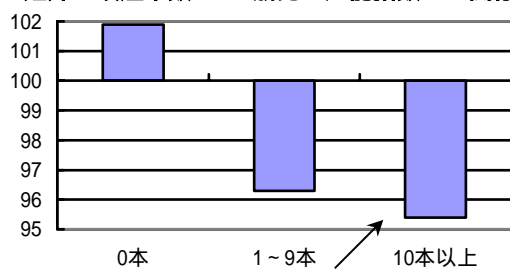
先天性心疾患や口蓋裂、無脳症などの先天異常は妊婦の喫煙と関係があります。

(出典: 喫煙と健康-喫煙と健康問題に関する報告書 第2版,厚生省編,保健同人社,p130-132)

知能低下が防げます

妊婦がタバコを吸うと、一酸化炭素やニコチン、発癌物質などの有毒物質が胎盤を通して赤ちゃんに蓄積していきます。例えば、鉛は幼弱な赤ちゃんの脳に蓄積して知能低下を起こすことが知られています。妊婦や赤ちゃんの周りでの喫煙も同じように危険です。

妊婦の喫煙本数と 11 歳児の知能指数との関係



(知能指数が低くなるほか、言語能力・読解力・算数や論理的思考力の低下、他動児・行動障害が増加することがわかっています)

(出典: N.R. Butler & H. Goldstein: Brit Med J, 1973)

喫煙しない妊婦と比べると知能指数は 6 以上低くなります

肺がんが防げます

小児期にタバコの煙を吸わされると、将来肺がんになる確率が 3 倍に増えると報告されています。

(出典: Brit Med J 2005;330:277-281 and 287-288)

～ 妊婦がタバコを吸うとこんなことが・・・ ～

赤ちゃんは生まれてから元気に呼吸をするために、おなかの中でも呼吸筋を動かして、息をする練習をしています。妊婦がタバコを吸うたびに、その動きが止まっていることがわかりました。

(NHK B S 2001/8/1 放送「女性とタバコの危険な関係」より ～ 妊婦がタバコを吸うと赤ちゃんの呼吸が止まる様子を産科の医師がエコー検査をしながら説明している)



また、屋外だけで喫煙しても、吐く息に含まれるタバコ由来の有害物質によって、周りの人が健康被害を受ける可能性が、最近指摘されています。

喫煙から受ける赤ちゃんのストレスは、命に関わるほど大きいのです。あなたとあなたの赤ちゃんを、タバコから守って下さい。もしも、あなたやあなたのまわりのご家族の禁煙が難しいなら、ぜひ、ご相談下さい。必ず禁煙できます。

参考: 洲本市禁煙専門外来ホームページ <http://www1.sumoto.gr.jp/shinryou/kituen/>